

9条は愛おしい人類の宝

安倍首相の暴挙で日本が壊される。

69年間守り通した崇高な平和憲法9条が、台無しにされようとしている。

よりもよって、今、日本国民がノーベル平和賞にノミネートされている矢先。

日本国民こぞって喜ばしい事でもあるにも関わらず。

安倍首相は日本国民ではないのか。

集団的自衛権行使、武器輸出解禁、辺野古新基地強行、靖国神社参拝等、どれもこれも、戦争を呼び込む材料ばかりだ。国民の不安、不信をあおるものに他ならない。

国民の清々しい喜び、ノーベル平和賞まで足を引っ張りかねない。

首相失格、人間失格。

こんな時こそ、日本国民

は毅然とした態度で、9条を守り広めよう！！

世界に愛の貢献をしよう！！

戦争は何時もこの様な、人間失格の人の一寸した事から、簡単に起こり、倍々返しのエンドレスだ。



戦争は誰のためにするのか。それは悪人を喜ばす為だった。

戦争はこの世の中の悪事を、すべてかき集めたものだった。

戦争は悪の隠れ蓑だった。

子供の犠牲もおびただしい。日本中の空襲犠牲者名簿を見るまでもない。

戦争は犯罪の最たるものだった。聖戦などない。

戦争を犯罪と認識しない限り、戦争は永遠にイタチごっこだ。

これが、11歳で体験した私の消し難い戦争への怒りである。

今、平和憲法9条の下、清潔な暮らし、豊かな暮らしを謳歌しているが

あの戦火の犠牲者に、たった1日でも、こんな生活を味わって貰いたかったと、私は今、つくづく思えてならない。

平和憲法9条は、幾千万の犠牲によってもたらされた尊く、愛おしい人類の宝だ。戦火に消えたあの人、あの子達の顔が鮮明によみがえってくる。
神戸市在住 山本 尚代

芦屋「九条の会」

9周年記念のつどい

日時 6月28日(土) 14:00~16:00

講師 窪島 誠一郎さん

「無言館」館主・作家

会場 上宮川文化センター ホール

参加協力費 500円(高校生以下無料)

画家になることを夢み、生きて帰って絵を描きたいと願いながら戦地に赴いた画学生たち。しかし、その指に絵筆が握られることは二度とありませんでした。彼らの作品を収納している「無言館」のことをお話しいたします。

*つどい終了後、約30分アピールウォークを行います。鳴り物、プラカード等大歓迎。

小雨決行。

「原発は人格権侵害」判決に感激

先日、福井地裁で画期的な判決がありました。裁判長は、人の生命を基礎とする人格権をもっとも重視し、「これを超える価値を他に見いだすことはできない」と強調。その上で、住民らの人格権と電力の安定供給やコストの問題をてんびんにかけて関電側の議論を退け、「国富の喪失」とは運転停止による貿易赤字ではなく、「豊かな国土とそこに国民が根を下ろして生活していること」を失うことだと強調しました。



平和とは、戦争がないだけではありません。人として尊厳を持って生き、一生を終えられることも大切です。事故や事件で人生を絶たれたり、生活を根こそぎ奪われることがあってはいけません。本当に良い判決で、私たちは大きなエールをもらいました。
東芦屋町 柳